

rePLANET

既成概念を超えて、
この星を変えていく

多様な人びとが自分らしく輝ける社会へ、
地球と人が共存し生き続ける未来へ。

私たちは、このビジョンに向かって本年4月、
BIPROGYグループ(旧日本ユニシスグループ)に名称を変え、
さらなる前進をはじめました。
ICT企業から、ボーダーレスな社会的価値創出企業へ。

垣根を越えてテクノロジーの可能性を引きだし、
あらゆる価値を結び想像を超えた共有財を生み出す——
組織・文化・国を越えた「デジタルコモンズ」の実現により、
多様性と希望に溢れる社会へと地球を再構築していきます。

新たにスタートする皆さまとのイベント、
BIPROGY FORUMで、
この星を変えていく新しい物語のページをお開きください。

東京とオンラインのハイブリッド開催

BIPROGY FORUM 2022

参加費無料

2022.6.2 Thu - 6.3 Fri

主催：BIPROGYグループ 共催：BIPROGY研究会

ANAインターコンチネンタルホテル東京

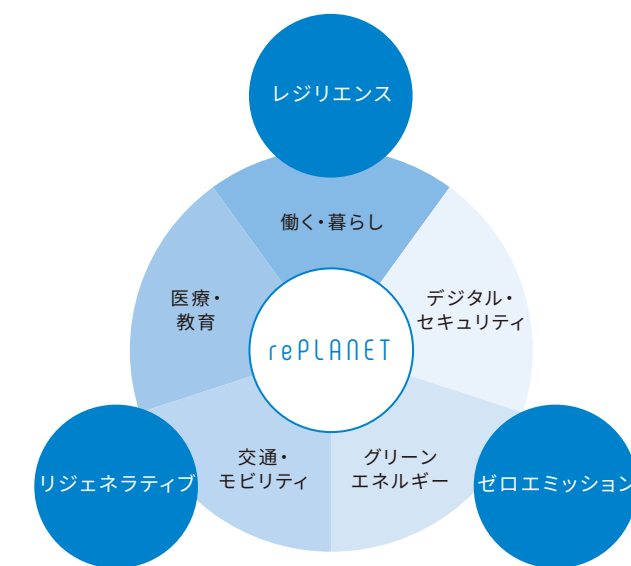
同時開催 | BIPROGY研究会 全国カンファレンス2022

テーマビジュアルについて

『Resonate』をタイトルに新生BIPROGYをイメージする作品を、実験的で先端的な表現作品を発表し続けるライゾマティクスが制作しました。
多様な存在の光彩が共鳴し、持続可能に再構築されていくSphere(地球)など、連続したアートワークを展開していきます。

進化した BIPROGY FORUM 2022へ。 rePLANETをめざす 取り組みにご注目ください。

BIPROGY FORUM 2022では、
今回のテーマ「rePLANET」の実現をめざす取り組みを、
講演・展示ともに3つのカテゴリーに分けてご紹介します。



豪華講師陣による講演と、 多彩なテーマのセッション

各界の有識者や専門家およびBIPROGYグループ社員が、多様性を
結び持続可能へと地球を変えていく「rePLANET」をめざした最新の
取り組みやICTソリューションなど、多様なテーマで講演やセッション
を行います。基調講演・特別講演は会場とライブ配信、各セッションは
オンデマンド配信、さらに会期終了後もアーカイブ配信で6月30日
(木)までご視聴いただけます(一部を除く)。

*アーカイブ配信をご視聴いただくには、6月3日(金)18:00までにお申し込みが必要です。

注目の商材やサービスを展示

ICTソリューションやデジタルトランスフォーメーションに関する商材や
サービスを、会場およびオンラインでご紹介します。会場展示では担当
者の説明のもと、最新の取り組み事例に触れていただけます。オンライン
展示では各商材・サービスに関する動画コンテンツの視聴や資料のダウ
ンロード、担当者へのお問い合わせなどができます。

BIPROGY研究会の 全国カンファレンスと研究発表セッション

6/2(木)
開催

BIPROGY研究会は、「BIPROGY FORUM 2022」の初日6月2日(木)に
会場で開催。 「年次総会」では、BIPROGY研究会を
はじめ、ICT業界や社会に多大な貢献をした個人・グループなどに贈ら
れる2021年度「エッカード賞」の発表と表彰式を行います。また、優秀な
研究活動・論文活動の成果を発表する「BIPROGY研究会セッション」
は、6月2日(木)にライブ配信。会期終了後はアーカイブ配信で6月30日
(木)までご視聴いただけます。

お申し込みは特設サイトから

参加費無料!

BIPROGY FORUM 2022 検索

<https://forum.biprogy.com/2022/tokyo>



お申し込み
期限 会場での参加……6/1(水)12:00まで
オンラインでの視聴……6/3(金)18:00まで

お問い合わせ

BIPROGY FORUM 2022事務局

TEL | 03-6311-4626 (土日祝日を除く)
平日10:00~18:00

E-mail | info@biprogyforum2022.jp

会場へのアクセス

ANAインターコンチネンタルホテル東京
東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111



- ・東京メトロ 銀座線・南北線「溜池山王駅」13番出口より徒歩1分
- ・東京メトロ 南北線「六本木一丁目駅」3番出口より徒歩2分
- ・東京メトロ 日比谷線「神谷町駅」4番B出口より徒歩10分



SDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された、人と地球の未来の
ために2030年までに解決すべき17の目標です。国際社会で普遍的に適用されるこれらの目標を達成するために企業への期待も
高まっています。BIPROGYグループはデジタルコモンズを通じて、SDGsの達成に向けて貢献していきます。



*講師および講演内容は、都合により変更になる場合がございます。
*案内状と特設サイトの情報が異なる場合、特設サイトの情報が優先されます。
*BIPROGYグループ各社員以外による講演の内容は各講師個人または所属組織の見解
であり、BIPROGYグループ各社の見解を示すものではありません。
*やむを得ない理由により、イベント内容を変更・中止させていただく場合がございます。

来場
される方へ
・ウイルス感染の可能性のある方、体調のすぐれない方はご来場をお控えください。
・ご来場時のマスク着用及び換気扇の励行にご協力をお願いいたします。
・会場入室時の手指の消毒にご協力をお願いいたします。
・混雑等により入場制限をさせていただく場合がございます。

BIPROGY FORUM 2022 PROGRAM

ON-SITE & LIVE PROGRAM

6.2 Thu 受付開始 12:00

ご挨拶

13:00 | 13:30

片山 雄一 氏
BIPROGY研究会 会長
株式会社オリエンタルランド
取締役 副社長執行役員

平岡 昭良
BIPROGY株式会社
代表取締役社長 CEO・CHO

K-1 基調講演／パネルディスカッション

受け身の組織から挑戦が生まれる組織へ
～多様な個人の力を解き放つ“LISTEN”～

13:30 | 15:00

篠田 真貴子 氏
エル株式会社
取締役

福島 敦子 氏
ジャーナリスト

平岡 昭良
BIPROGY株式会社
代表取締役社長 CEO・CHO

PROFILE

社外人材によるオンライン1on1を通じて、組織改革を進める企業を支援している。2020年3月のエル参画以前は、日本長期信用銀行、マッキンゼー、ノバルティス、ネスレを経て、2008年～2018年ほど日取締役CFO、退任後「ジョブレス」期間を約1年設けた。慶應義塾大学経済学部卒、米ペンシルバニア大ウォートン校MBA、ジョンズ・ホプキンス大国際関係論修士。人と組織の関係や女性活躍に関心を寄せ続けている。(株)メルカリ社外取締役、経済産業省 人的資本経営の実現に向けた検討会委員、「LISTEN—知性豊かで創造力がある人になれる」、「ALLIANCE アライアンス—人と企業が信頼で結ばれる新しい雇用」監訳。

S-1 特別講演

15:30 | 16:30

アートの社会実装について
～アートの歴史を振り返り、現在と未来を解説する～

真鍋 大度 氏
Rhizomatiks
主宰

PROFILE

アーティスト、プログラマー、DJ。
2006年Rhizomatiks 設立。
身近な現象や素材を異なる目線で捉え直し、組み合わせることで作品を制作。高解像度、高臨場感といったリッチな表現を目指すだけでなく、注意深く観察することにより発見できる現象、身体、プログラミング、コンピュータそのものが持つ本質的な面白さや、アナログとデジタル、リアルとバーチャルの関係性、境界線に着目し、様々な領域で活動している。

東京で、オンラインで、全講演を同時進行。

プログラムは、一部を除き6/30(木)までアーカイブ配信いたします。会期終了後も、ぜひご視聴ください。
*アーカイブ配信をご視聴いただくには、6/3(金)18:00までにお申し込みが必要です。

BIPROGY研究会 全国カンファレンス2022

15:10 | 15:40

B-1 研究活動

青果特徴判別アプリ
～こんな見た目の青果が良かったんだ！～

ほくでん情報テクノロジー株式会社 宮中 大 氏
嶋 あかね 氏

15:10 | 15:30

B-4 論文活動

保険設計書等の募集資料の電子的送付について
～ITで届けるお客さまへの想い～

富国生命保険相互会社 木部 修 氏

15:40 | 16:00

B-5 論文活動

生保幹幹システムにおける外部設計工程内製化の挑戦
～開発会社依存からの脱却～

MS&ADシステムズ株式会社 大石 祐太 氏

15:50 | 16:20

B-2 研究活動

AIによる写真構図判定と評価
～あなたの写真をAIで“採点”します～

東京ガスiネット株式会社 堀 耀一朗 氏

16:10 | 16:30

B-6 論文活動

リモート時代もこれで安心
～セキュリティを強化したリモート操作環境構築について～

ほくでん情報テクノロジー株式会社 吉田 将平 氏

16:30 | 17:00

B-3 研究活動

AIによる写真の部分塗り絵化
～その被写体、塗り絵にしてみませんか？～

近鉄情報システム株式会社 向井 悠人 氏

16:40 | 17:00

B-7 論文活動

プロダクトオーナーとして参画した
アジャイル型開発プロジェクトでの教訓
～将来のDXプロジェクト実施に向けた布石～

株式会社トインクス 小野 有輝 氏

17:20 | 18:05

B-8

年次総会
2021年度で最も優れた活動に贈られる「エックアワード」の表彰と年間活動計画のご案内。

*BIPROGY研究会の会員企業向けの年次総会となります。

6.3 Fri 受付開始 9:30

K-2 基調講演／パネルディスカッション

10:00 | 11:30

シリコンバレーVCに学ぶ演繹法的アプローチ
～発想を切り替え 輝く未来を照らしだす～

校條 浩 氏
NSV Wolf Capital
Managing Partner

齊藤 昇
BIPROGY株式会社
代表取締役 専務執行役員 CMO

PROFILE

シリコンバレーを中心とした最先端ベンチャーキャピタル(VC)に分散出資すると同時に、VCの投資先の優良ベンチャー企業に協調投資する画期的な「戦略的ハイブリッドVCファンド」を運営。投資リターンと幅広いベンチャーの戦略的情報・知見の双方を日本企業に提供し、改革・新事業創造で成果を上げている。1978年小西六写真工業(現コニカミルタ)に入社し、銀塩写真フィルムの開発に携わる。世界初の電子カメラの開発を見てデジタル分野に大きく舵を取る。マサチューセッツ工科大学、ボストン・コンサルティング・グループを経て、1991年シリコンバレーに移住。日米間の戦略提携を進めた後、1994年「シリコンバレーを創った25人」と言われるレジス・マッケンナに誘われ、マッケンナ・グループで日本企業部門を立ち上げる。2002年新事業創造を実現するネットサービス・ベンチャーズ(NSV)を共同設立。2011年NSVウルフキャピタルを創成。週刊ダイヤモンドの看板コラム「シリコンバレーの流儀」を4年間連載。日経産業新聞「新風シリコンバレー」連載中。

S-2 特別講演

11:40 | 12:10

同じ未来を想い、成功への地図を描く
～BIPROGYグループにおけるユニアドックスの連携ビジョン～

田中 建
ユニアドックス株式会社
代表取締役社長

S-3 特別講演

13:00 | 14:00

サステナビリティ対談 Vision2030とSDGs
～BIPROGYグループが目指すサステナビリティ経営と社会課題解決への貢献～

葛谷 幸司
BIPROGY株式会社
取締役 専務執行役員 CSO

園田 綾子
株式会社クレアン 代表取締役
BIPROGY株式会社
取締役(社外取締役)

S-4 特別講演

14:10 | 15:10

コミュニケーションの進化と社会の多様性

山極 壽一 氏
総合地球環境学研究所
所長

PROFILE

1952年東京都生まれ。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学。理学博士。ルワンダ共和国カリケ研究センター客員研究員、日本モンキーセンター研究員、京都大学学長特別研究助手、京都大学大学院理学研究科助教授、同教授、同研究科長・理学部長を経て、2020年まで第26代京都大学総長。人類進化論専攻。屋久島で野生ニホンザル、アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学的研究に従事。日本学術会議会長、国際学術会議会長、日本学術会議会長、総合科学技術・イノベーション会議議員を歴任。現在、総合地球環境学研究所 所長、環境省中央環境審議会委員を務める。著書に『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』(2020年、家の光協会)、『スマホを捨てたい子どもたち—野生に学ぶ「未知の時代」の生き方』(2020年、ポプラ新書)、『京大というジャングルでゴリラ学者が考えたこと』(2021年、朝日新書)など多数。

ON DEMAND PROGRAM

<p>P-1</p> <p>そのビジネス本当に最適化できていますか ～量子コンピューティングの適用ケースから見えるDXのその先～</p> <p>BIPROGY株式会社 小川 智雄 小林 裕幸</p>	<p>P-3</p> <p>個の力が発揮される強い組織づくりに向けて ～「PRAISE CARD」のトライアルを通じて見てきたもの～</p> <p>株式会社博報堂コンサルティング 依田 真幸 氏 BIPROGY株式会社 小谷野 圭司</p>	<p>P-5</p> <p>志を共にするパートナーとつくる地域の未来を実現する理由(わけ)がある ～顧客の解像度をあげることから始めよう～</p> <p>株式会社UNCOVER TRUTH COO 小畑 陽一 氏 BIPROGY株式会社 柳沢 博一</p>	<p>P-7</p> <p>生活者の豊かな購買体験を実現する ～データ×マーケティング×サステナブルが創るプラットフォーム～</p> <p>BIPROGY株式会社 龍田 直人 呉花 楠</p>	<p>P-9</p> <p>企業とサービスが共に歩む世界を創る ～デジタルをつなぐことによるサステナブルな社会創出に向けて～</p> <p>xID株式会社 代表取締役CEO 日下 光 氏 BIPROGY株式会社 向井 剛志</p>	<p>P-11</p> <p>ゼロトラストで忘れられた大事なものは? ～ランサムウェア対策もゼロトラストも「可視化」が大事～</p> <p>ユニアドックス株式会社 岩竹 智之</p>	<p>P-13</p> <p>次世代コンタクトセンターの先にあるデータ活用 ～応対履歴を価値あるデータに変える!～</p> <p>パーソルワークスデザイン株式会社 松野 淳一 氏 エス・アンド・アイ株式会社 佐々 博音</p>	<p>P-15</p> <p>実践カーボンニュートラル経営 ～環境経営の実現に向けた進め方と非化石証書の活用～</p> <p>BIPROGY株式会社 安藤 慎也</p>	<p>P-17</p> <p>木と人がともに生きる未来をつくる「キノクス」 ～国産木材の流通と活用の革新によりサステナブルな社会を実現～</p> <p>グリーンデジタル&イノベーション株式会社 代表取締役 井福 陽一 氏 BIPROGY株式会社 橋 繁之</p>	<p>P-19</p> <p>組み合わせ最適化によるDXの実現 ～AIによる最適化によるDXの実現 ～高速組み合わせ最適化ソルバーの開発と応用～</p> <p>大日本印刷株式会社 中川 修 氏</p>	<p>P-21</p> <p>エンジニア起業家と創り出す新たな世界 ～イノベーションを生み出すコラボレーション～</p> <p>合同会社MIRAISE 代表取締役 岩田 真一 氏 キャナルベンチャーズ株式会社 代表取締役 朝田 聡一郎</p>	<p>P-23</p> <p>一人一人に最適なヘルスケアを実現する ～先進的な協働型ヘルスケアプラットフォームで医療課題を解決する～</p> <p>BIPROGY株式会社 / 医療AIプラットフォーム技術研究組合 八田 泰秀</p>	<p>P-4</p> <p>グローバル企業におけるCXの活用 ～BIPROGYグループの海外支援～</p> <p>BIPROGY株式会社 中村 みゆき AXXIS Consulting (S) Pte Ltd ナタニエル・チャービット</p>	<p>P-6</p> <p>先端テクノロジーで物流現場のDXを実現! ～物流オペレーションの可視化・最適化で変わる次世代物流施設とは～</p> <p>GROUND株式会社 品川 竜介 氏 BIPROGY株式会社 七里 綾香</p>	<p>P-8</p> <p>小売業界の売場最適化と売上拡大策 ～AIロボット×マンパワーによる棚割管理・売場維持サービス～</p> <p>BIPROGY株式会社 横川 達也</p>	<p>P-10</p> <p>BIPROGYリースソリューションの将来展望 ～リース会社のDXとリース業界のDX推進に向けて～</p> <p>BIPROGY株式会社 高成田 彰 伴 陽一郎</p>	<p>P-12</p> <p>次世代AIチャットボット「AiCB」 ～企業担当の負担軽減 AIがチャットボットを自動生成!～</p> <p>ユニアドックス株式会社 松尾 耕太</p>	<p>P-14</p> <p>新規事業のタネを形にする! ～アイデアから「これならやれそう」までに磨き上げるプロセス～</p> <p>ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社 バイスプレジデント 白川 克</p>	<p>P-16</p> <p>BIPROGY 自動運転 Foresight ～自動運転安全性評価 シミュレーション構築の狙いと将来性について～</p> <p>BIPROGY株式会社 渡邊 龍雄 猪股 学 奥村 知之</p>	<p>P-18</p> <p>ユナイテッドアローズのオムニチャネル戦略 ～急激な変化に柔軟なSaaSを活用したこれからのECモデル～</p> <p>株式会社ユナイテッドアローズ BIPROGY株式会社 木下 貴博 氏 佐藤 博之 氏 村田 一世</p>	<p>P-20</p> <p>SWIFTが目指す国際決済インフラの大改革 ～BIPROGYが考える金融機関の事務DX必勝法～</p> <p>スイフト・ジャパン株式会社 Managing Director, Head of SWIFT East Asia アラン・デルフォッセ 氏 BIPROGY株式会社 吉田 得到</p>	<p>P-22</p> <p>ものづくりの変革に向けたDXの推進 ～エンジニアリングプラットフォームで進化を新しいものづくり～</p> <p>UEL株式会社 河合 孝幸</p>
--	---	---	---	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	---	---	--	---	--	---	--	---